

九州横断自動車道延岡線(矢部^{やべ}～蘇陽^{そよう})
第1回 説明資料

令和元年9月11日

国土交通省 九州地方整備局

目 次

1. 評価対象区間
2. 計画段階評価手続きの進め方(案)
3. 地域の現状と課題
4. 政策目標(案)の設定
5. 意見聴取方法(案)

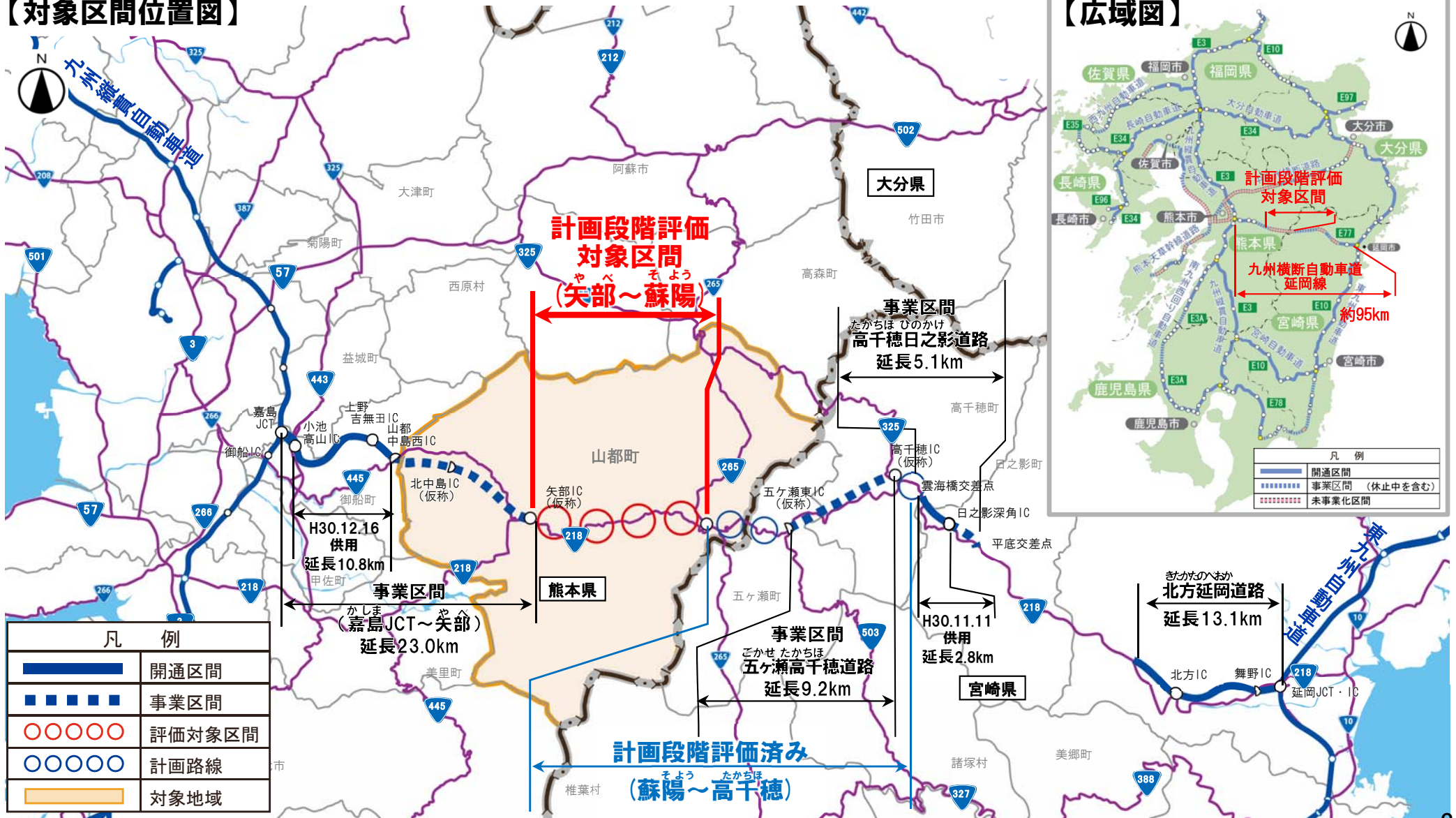


1. 評価対象区間

1. 九州横断自動車道の進捗

- 対象区間は、九州横断軸を構成する九州横断自動車道延岡線の一部です。
- 事業区間の「^{かしま}嘉島JCT～^{やべ}矢部IC」と計画段階評価が完了した「^{そよう}蘇陽～^{たかちほ}高千穂」を結ぶ道路であり、熊本県内では唯一計画段階評価が完了していない区間です。

【対象区間位置図】



【広域図】

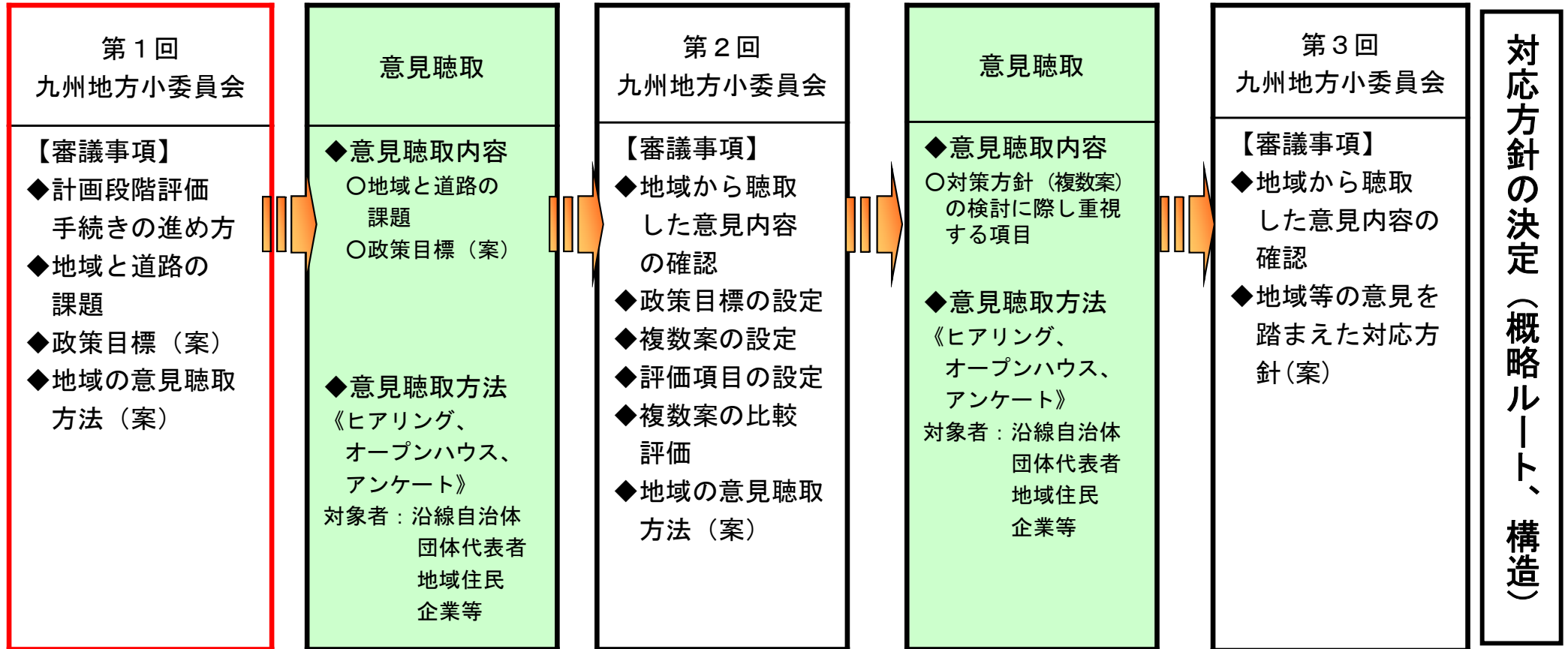




2. 計画段階評価手続きの進め方(案)

2. 計画段階評価手続きの進め方(案)

【令和元年9月11日】



地 方 小 委 員 会

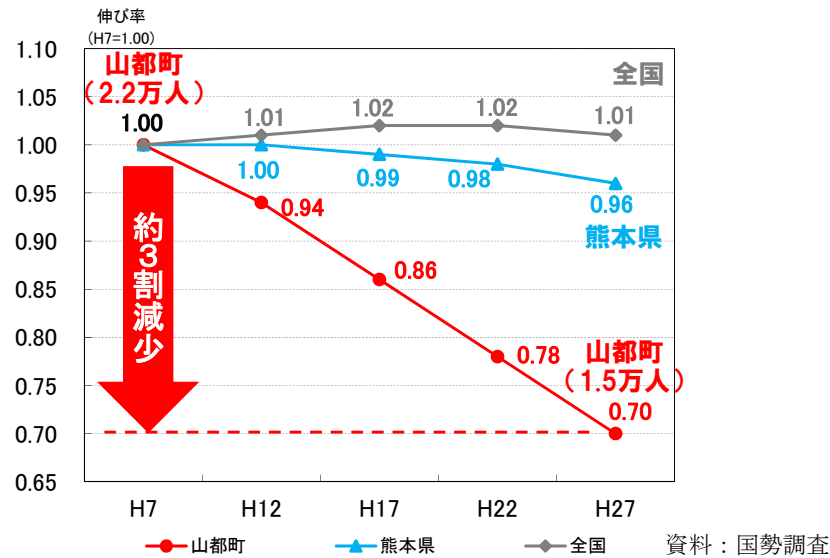


3. 地域の現状と課題

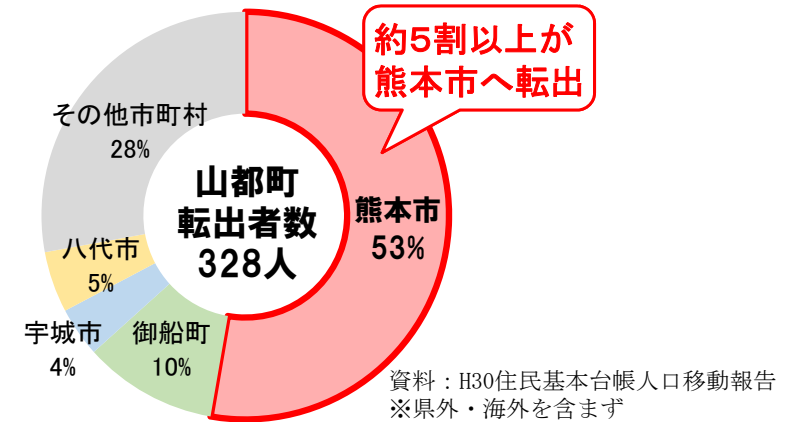
3-1. 地域の現状<人口・高齢化率>

- 山都町の人口は1万5千人です。この20年間で約3割減少しており、県内でも減少率が高い地域です。
- 山都町の高齢化率は44%であり県内2位と高く、全国・県平均を大きく上回ります。
- 人口減少や高齢化の理由として転出者が多いことも想定され、特に熊本市への転出が多くなっています。
- しかし、H30年12月の山都中島西ICの開通後、転入及び転出は改善されました。

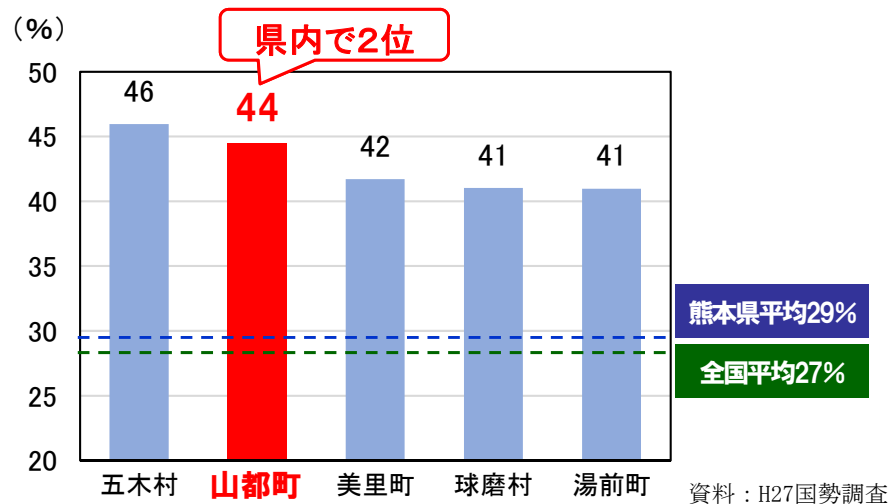
【人口の推移】



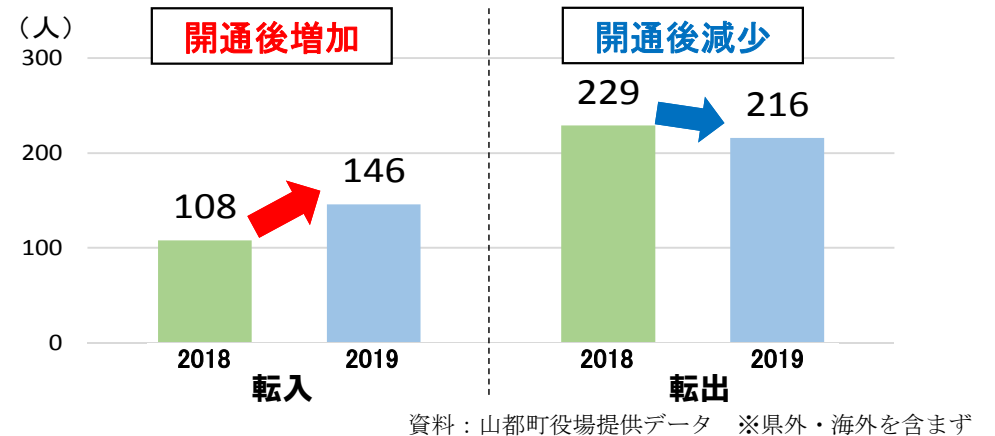
【山都町から熊本県内への主な転出先】



【高齢化率(65歳以上人口)】



【山都町の転入・転出状況(1~6月)】



・延岡線の延伸を見越して宅地造成を進めており、居住環境を整えている段階です。

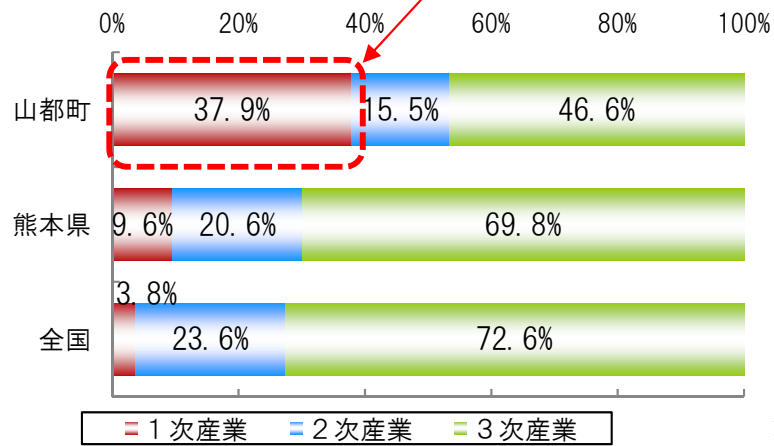
・延岡線が山都町まで延伸することで、山都町に住みながら熊本市への通勤がしやすくなることに期待しています。



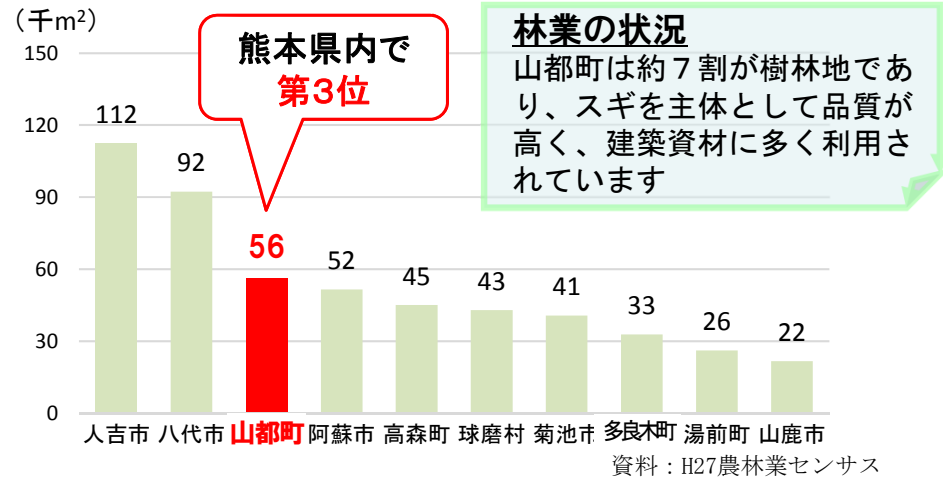
3-1. 地域の現状<産業構造>

- 山都町は農業や林業などの第一次産業の従事者の割合が約38%であり、全国・熊本県値と比べて高くなっています。
- 熊本県はトマトの出荷量が西日本1位であり、山都町は夏秋トマトの出荷量が県内3位となっています。
- また、林業の生産量も多く、主要な産業となっています。

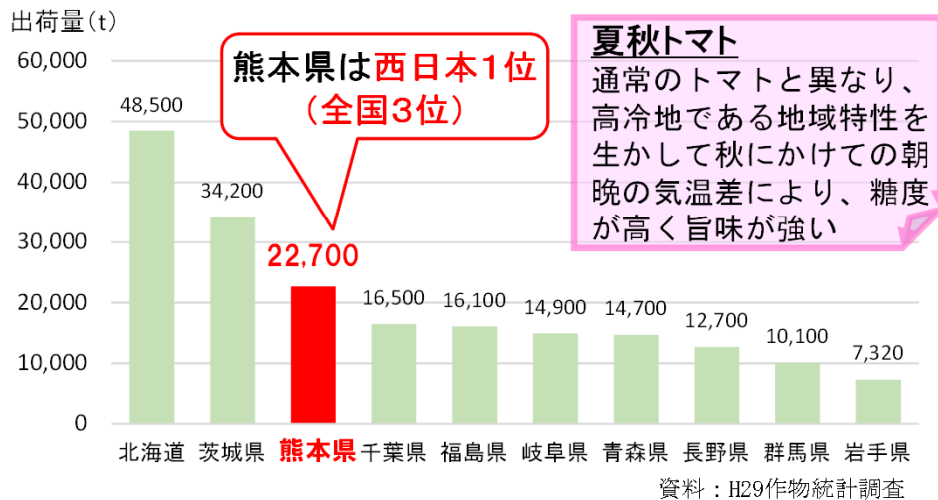
【産業別人口の割合】 **山都町は全国・熊本県の平均に比べて第1次産業の占める割合が高い**



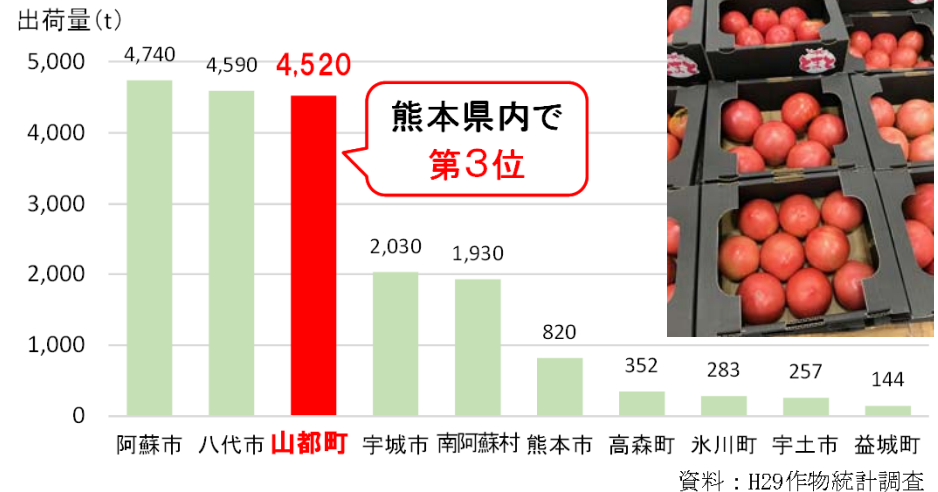
【林業生産量】(熊本県内ランキング)



【夏秋トマトの出荷量】(全国ランキング)



(熊本県内ランキング)



3-1. 地域の現状<広域観光>

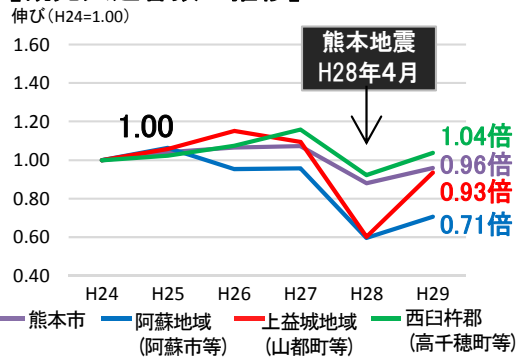
○山都町の周辺には、熊本城、阿蘇山、高千穂峡等の全国有数の観光地が存在しており、多くの観光客が訪れています。山都町内においても通潤橋、清和文楽館等の観光地が存在しています。

○熊本地震の影響により一時減少した観光客も、最近は復興事業も進み、増加傾向へ転じています。



資料: (入込客数) 図説九州経済2017、市町提供

【観光入込客数の推移】



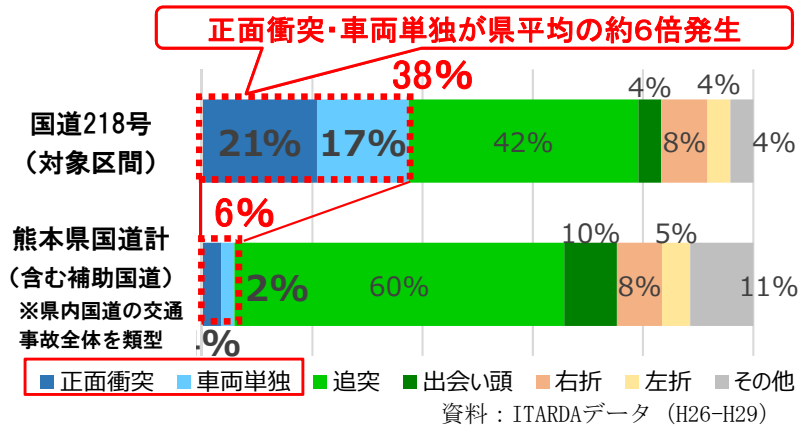
3-2. 地域の現状と課題 <暮らし: 線形不良・交通安全>

- 対象区間に並行する現道は、山間部を走る2車線の幹線道路となっています。清和地区周辺等には、生活の中心となっている役場などが集中しています。
- 対象区間には平面線形不良箇所が29箇所、縦断線形不良箇所が10箇所存在し、事故はその線形不良箇所に集中しており、走行性の確保や安全性の向上が課題です。

【線形不良箇所と事故】



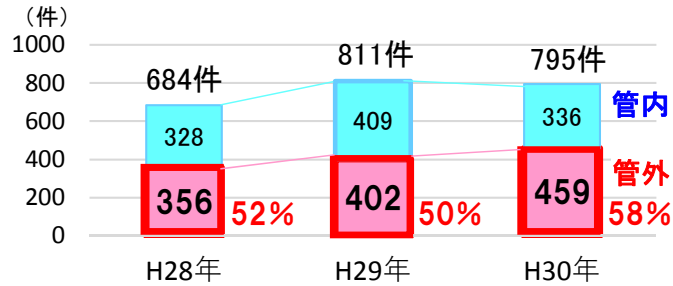
【事故類型】



3-2. 地域の現状と課題 < 医療：救急搬送 >

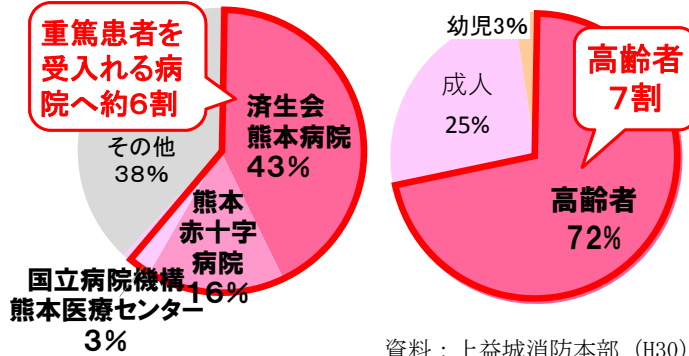
- 山都町からの管外搬送は年々増加傾向です。管外の搬送先は熊本市内が多くなっています。
- 特に重篤患者を受入れる済生会熊本病院や赤十字病院などへの搬送が約6割を占めており、熊本市へ向かう速達性の確保が課題です。
- また、管外搬送の約7割が高齢者であることから、体への負担軽減を図るため走行性の確保も課題です。

【山都町の救急搬送の割合】

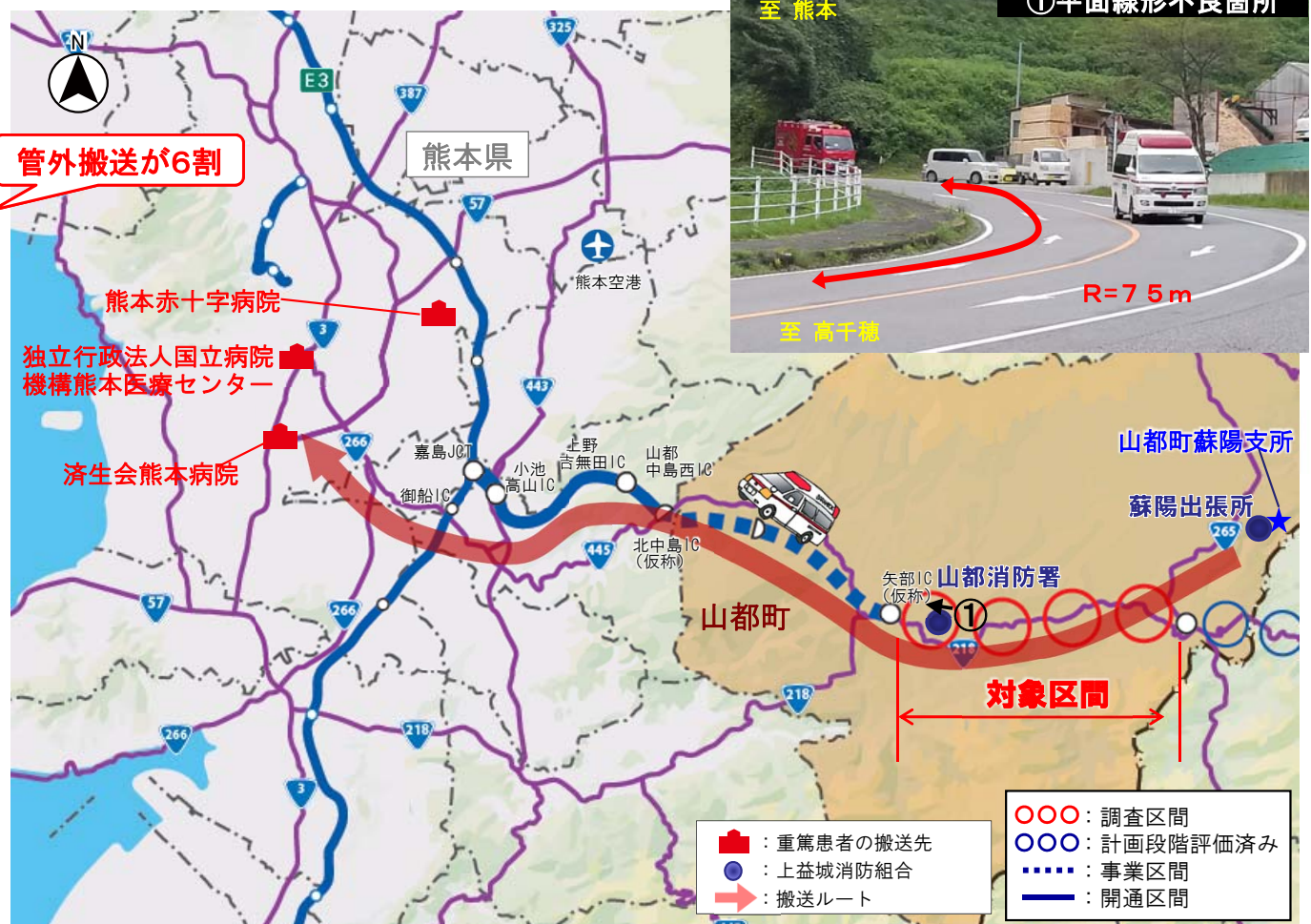


山都町の管外搬送の搬送先割合 (H30)

山都町の管外搬送の高齢者割合 (H30)

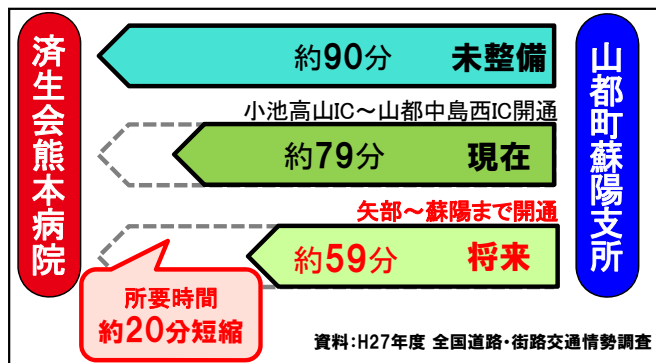


【第3次救急医療施設への搬送ルート】



※山都消防署と蘇陽出張所 (山都町)

【熊本市内への搬送時間】



山都町からの搬送では、山都中島西ICから高速道路を使うことで、搬送時間の短縮とともに走りやすくなりました。高速道路の開通は搬送時間が短縮するとともに、患者への負担軽減にもつながっています。

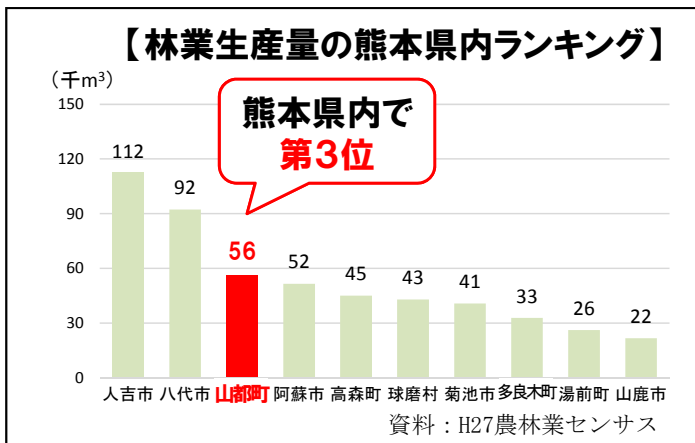
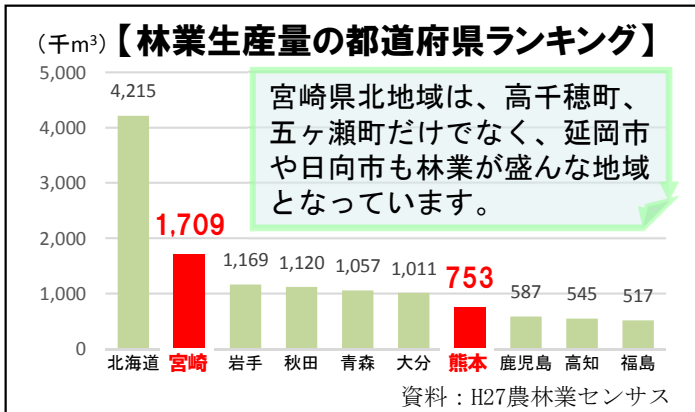
(蘇陽出張所)



3-2. 地域の現状と課題 < 物流・林業 >

○九州横断自動車道延岡線沿線の宮崎県や熊本県は林業が盛んな地域です。対象区間は沿線の集荷場や宮崎側から熊本市内の物流集積拠点へ、原木を積載したトラックが頻繁に通行しています。

○各拠点までの輸送時の急カーブなどによる荷崩れ及び転倒を防ぐため、走行性や安全性の確保が課題です。



熊本市内の物流集積拠点まで、ドライバーは1日に4~5往復します。山都中島西ICの開通に伴い高速道路を使うようになり、荷崩れなどの心配が減りました。また、走りやすくなったことでドライバーの安全運転面の負担も軽減しました。



3-2. 地域の現状と課題 < 観光：地域間の周遊 >

○山都町を含む阿蘇くじゅう・高千穂地域では、九州横断自動車道延岡線等の整備により、阿蘇くじゅう観光整備計画(H30.3)と連携し、圏域内の回遊を促す仕組みの整備、圏域外からの交通アクセス改善を目指しています。

○これには、九州縦貫自動車道や東九州自動車道とのアクセスや隣接地域間の回遊性を高めるため、圏域外からの速達性や定時性の確保が課題です。

【阿蘇くじゅう観光圏整備計画】



阿蘇くじゅう観光圏

観光圏整備法（観光圏の整備による観光旅客の来訪及び滞在の促進に関する法律）に基づいて認定された観光圏

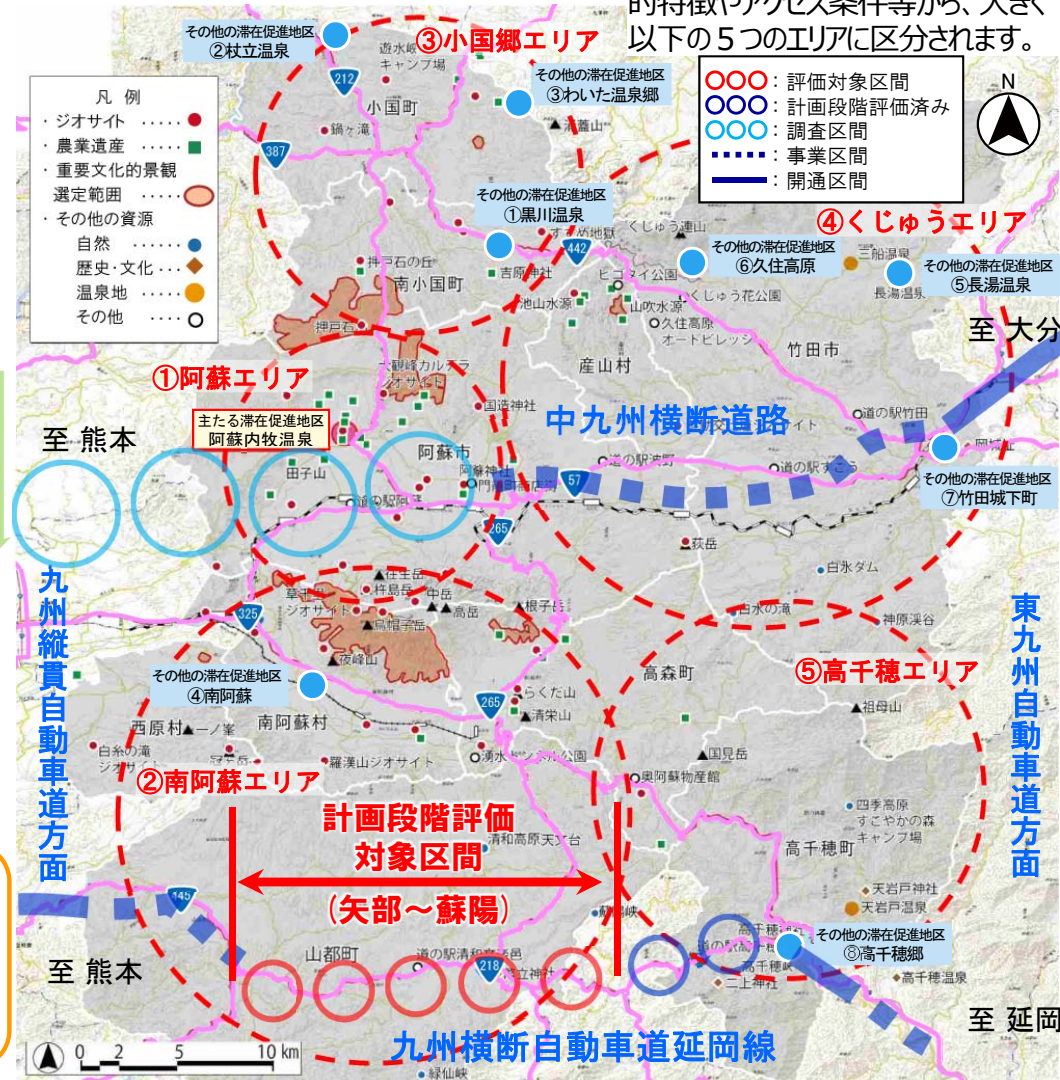
山都町は阿蘇市や高千穂町などとともに「阿蘇くじゅう観光圏整備計画」のメンバーとして連携しており、圏域の観光魅力を高める取組みをしています。



山都町を観光商品化するためには、高千穂や阿蘇との周遊が必須です。また移動の定時性が高まることで、立寄り箇所や滞在時間を増やせるため、観光商品の魅力が高まります。



【エリア毎の観光の概要】



阿蘇エリア



高千穂エリア



南阿蘇エリア (山都町)



3-2. 地域の現状と課題 <防災:道路ネットワークの構造>

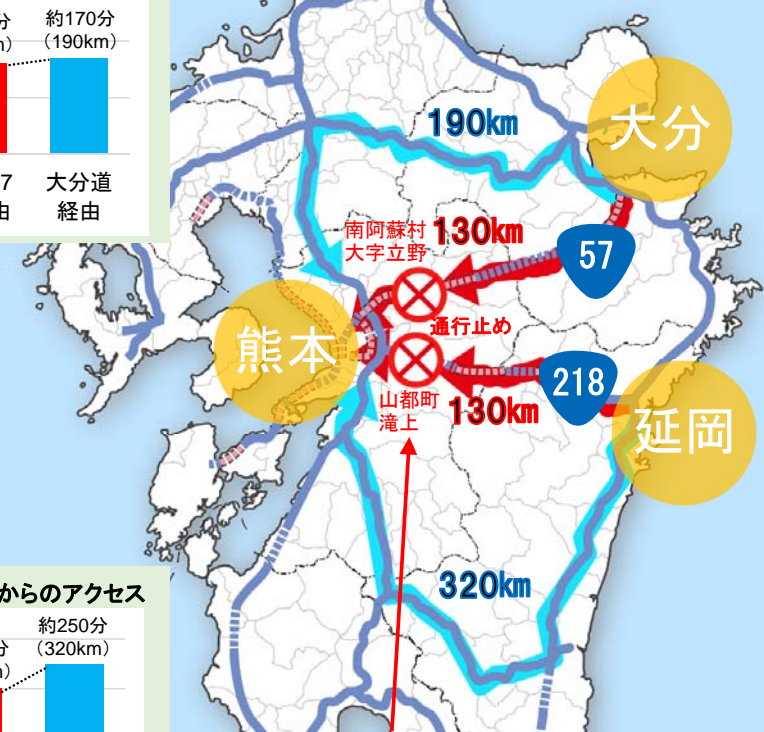
○平成28年4月に熊本地震が発生し、各地の道路途絶により円滑な物資輸送に大きな影響を与えました。
 ○九州東進作戦(緊急輸送ルート)の重要な路線である国道218号は脆弱であり、災害時でも救護・物資輸送機能を果たす信頼性の高い道路ネットワークの構築が課題です。

【熊本地震発生時の緊急輸送】

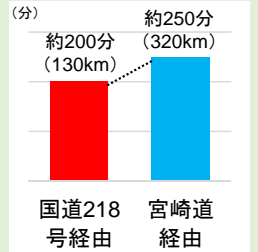
熊本地震直後は、通行止め情報が錯綜しており、医療関係車両などの確実な搬送ルートとして高速道路が利用された。



大分方面からのアクセス

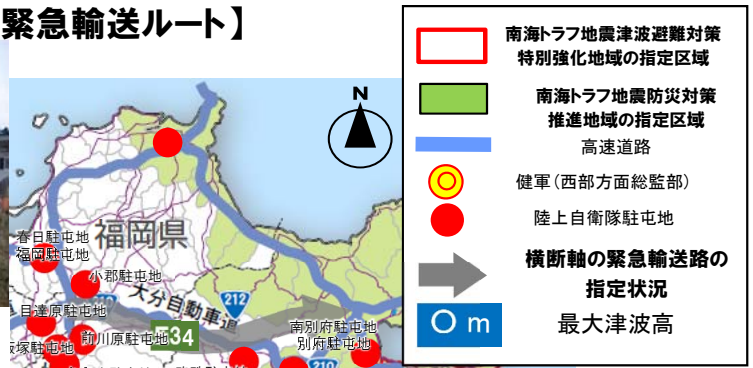


延岡方面からのアクセス



資料：道路交通センサス（H27年）により算出

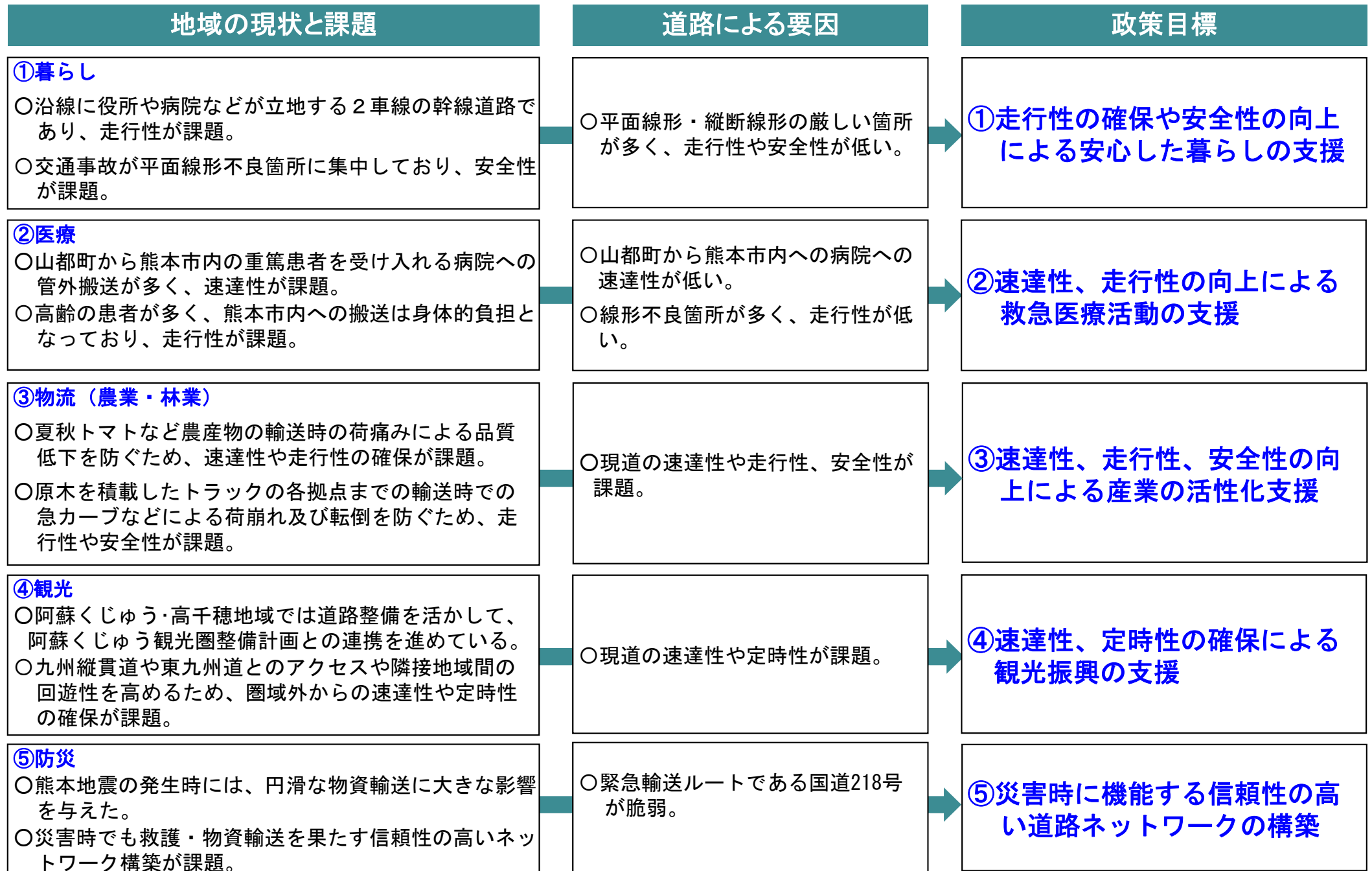
【南海トラフ地震被災時の緊急輸送ルート】





4. 政策目標(案)の設定

4. 政策目標(案)の設定





5. 意見聴取方法(案)

5-1. 第1回意見聴取(案)の概要

■意見聴取の項目と活用方針

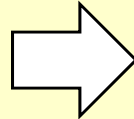
○第1回意見聴取は、地域の課題・政策目標(案)に対する意見を伺う。

○アンケート設問の設定(抜粋)

<政策目標>

【暮らし】

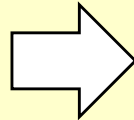
①走行性の確保や安全性の向上による安心した暮らしの支援



問1 : 道路の急カーブなどが多く、安全性に不安を感じる

【医療】

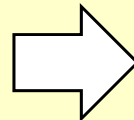
②速達性、走行性の向上による救急医療活動の支援



問2 : 救急搬送時の患者への負担が大きい

【物流(農業・林業)】

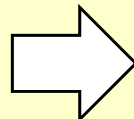
③速達性、走行性、安全性の向上による産業の活性化支援



問3 : カーブが多く、産業活動に影響を与えている

【観光】

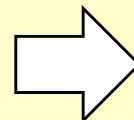
④速達性、定時性の確保による観光振興の支援



問4 : 観光地へのアクセス・周遊性が悪い

【防災】

⑤災害時に機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築



問5 : 災害発生時に道路を利用できるか不安を感じる

<アンケートにおける質問事項>

5-2. 意見聴取方法について

■ 意見聴取の方法

意見聴取は、沿線自治体・団体および企業へのヒアリング、オープンハウス、沿線住民アンケート、留置きを実施予定。

- ※1 ヒアリングは、沿線自治体および団体や企業等へ対面方式で意見聴取。
- ※2 オープンハウスは、市役所等での説明。アンケート票による意見聴取。オープンハウスの周知は町報などで広報。
- ※3 アンケートは、地域の全世帯にアンケート用紙を配布し、意見聴取。
(1世帯あたり、アンケート回答用返信ハガキを4枚同封予定)
- ※4 WEBでのアンケート回収も可能とする。

■ 意見聴取範囲



対象者

対象者		
ヒアリング ※1	【沿線自治体及び団体代表者】熊本県・関係市町村・団体への意見聴取	
	沿線自治体:熊本県、宮崎県、山都町、五ヶ瀬町、高千穂町	5自治体
	各団体等:トラック協会、バス協会、タクシー協会、商工会議所・商工会、消防署、警察、農協、観光協会 等	25団体程度
	【企業等】熊本県・関係市町村の関係企業への意見聴取	
	各企業:製造業、運輸・郵便業、卸売・小売業、宿泊・飲食サービス業、医療・福祉 等	主要100社程度
オープンハウス (ヒアリング) ※2	【地域住民】沿線の山都町役場等にオープンハウスを設置し、アンケート票による意見聴取	
	山都町 :山都町役場、清和支所、蘇陽支所、道の駅「通潤橋」、道の駅「清和文楽邑」、道の駅「そよ風パーク」 五ヶ瀬町:五ヶ瀬町役場 高千穂町:高千穂町役場、高千穂峡 等	9箇所程度
アンケート ※3	【地域住民】山都町と五ヶ瀬町、高千穂町の全世帯を対象とし、アンケート用紙を配布し意見聴取	
	山都町(約6,520世帯、約14,800人)	約6,520部(全世帯)
	五ヶ瀬町(約1,570世帯、約3,800人)	約1,570部(全世帯)
留置き	【広域的な道路利用者】道の駅等にアンケート用紙とアンケート回収ボックスを設置し、意見聴取	
	山都町:道の駅「通潤橋」、「清和文楽邑」、「そよ風パーク」 等	3箇所程度

5-3. 意見聴取資料(案)

◆アンケート調査の調査概要説明資料(案)のイメージ

■調査の主旨、調査対象箇所、計画段階評価の流れについて説明


九州横断自動車道延岡線(矢部～蘇陽)における道路計画に関する第1回アンケートにご協力をお願いいたします。

九州横断自動車道延岡線(矢部～蘇陽)は熊本市を起点として山都町・五ヶ瀬町・高千穂町を経由し延岡に至る延長約95kmの道路です。
 本調査は、九州横断自動車道延岡線(矢部～蘇陽)間の道路整備の計画検討を進めるにあたり、地域の皆様が日頃から感じている「道路交通や地域の課題」等についてご意見を頂くことを目的としています。
 皆様のご協力をお願いいたします。

■アンケート対象者

- 本アンケートは、山都町、五ヶ瀬町、高千穂町にお住まいの方全世帯に配布しています。
- 本アンケートは、配布させていただきます世帯のご家族の方を対象に**幅広い年齢層の方からのご意見をお伺いしたい**と考えております。お手数ですがアンケートの主旨をご理解の上、回答して頂きますようお願いいたします。
- ご家族の皆様のご意見をお伺いしたい為、「アンケート回答用 返信はがき」を4枚同封させていただきます。
 (対象は18歳以上としております。ご家族構成にあわせて必要枚数をご利用ください。)
- なお、返信はがきが不足する場合は以下の問合せ先にご連絡ください。

■回答の提出方法及び締切

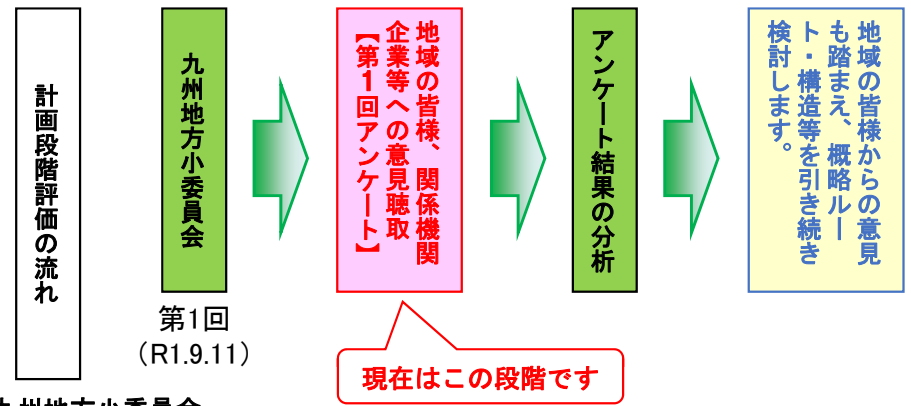
- 回答は、次のいずれかの方法のうち1つをお選びください。
 - 【方法1】同封しています「返信はがき」にご記入いただき、**令和元年●月●日(●)まで**に、切手を貼らず郵便ポストへご投函をお願いいたします。
 - 【方法2】インターネット接続環境のあるスマートフォンまたはパソコンより、下記のA、Bいずれかの方法でアンケートサイトにアクセスし、**令和元年●月●日(●)まで**に、回答してください。
- A 右記URLをアドレスバーに入力
- B QRコードからアクセス QRコードはこちら 

国土交通省 九州地方整備局
 問い合わせ先 熊本河川国道事務所 調査第二課 TEL:096-382-1242(直通)

九州横断自動車道延岡線(矢部～蘇陽)対象区間位置図



■アンケートは「計画段階評価」審議の参考意見となります。
 国土交通省では、道路事業の透明性・効率性を高めるため、計画段階評価の取組を導入しています。
 これは、道路の整備方針について地域の声(地域の皆様、道路利用者、関係団体等)を聞きながら、第三者委員会によって審議するものです。



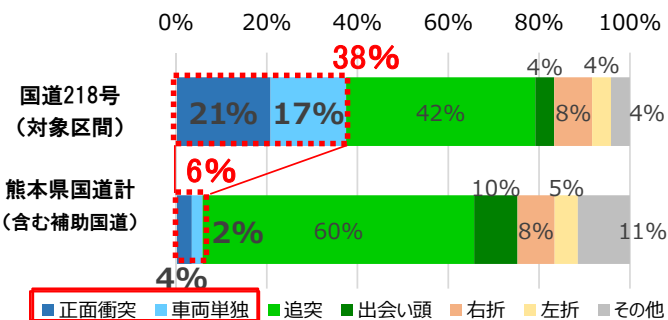
■九州地方小委員会
 九州地方小委員会は、公共事業の効率性や透明性の一層の向上を図るため、学識経験者など第三者から構成させる委員会です。
 なお、会議資料は、国土交通省九州地方整備局のホームページでご覧いただけます。

■現道の課題について説明

道路交通や地域の課題

1 道路の急カーブが多く、安全性に不安

- ◆国道218号は沿線に役所や病院などが立地する2車線の幹線道路であり、走行性が課題です。
- ◆交通事故が平面線形不良箇所に集中しており、安全性が課題です。

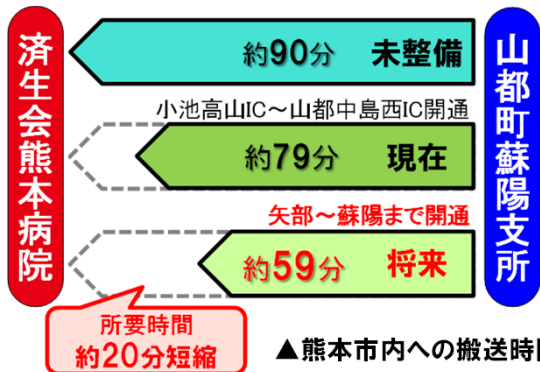


▲事故件数(正面衝突・車両単独)の割合

資料:イタルデータ(H26-H29)

2 救急搬送時の患者への負担が大きい

- ◆山都町から熊本市内の重篤患者を受け入れる病院への管外搬送が多く、速達性が課題です。
- ◆高齢の患者が多く、熊本市内への搬送は身体的負担となっており、走行性が課題です。



▲熊本市内への搬送時間

資料:H27年度 全国道路・街路交通情勢調査

3 カーブが多く、産業活動に影響を与えている

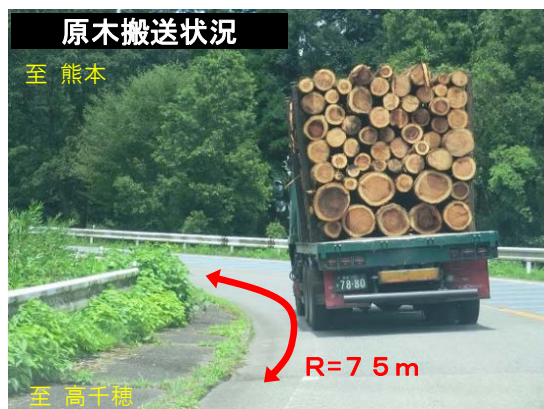
【農業】

- ◆山都町の夏秋トマトは出荷量の増加が見られる中、積替え拠点までの速達性が課題です。
- ◆急カーブでの輸送を強いられており、荷痛みを防ぐため、走行性の確保も課題です。



【林業】

- ◆原木を積載したトラックが、熊本市内の集積拠点まで頻繁に通行しています。
- ◆急カーブなどによる荷崩れや転倒を防ぐため、走行性や安全性の確保が課題です。



4 観光地へのアクセス・周遊性が悪い

- ◆阿蘇くじゅう・高千穂地域では道路整備を活かして、阿蘇くじゅう観光圏整備計画との連携を進めています。
- ◆広域圏からのアクセスや隣接地域間の回遊性を高めるため、圏域外からの速達性や定時性の確保が課題です。



5 災害発生時に道路を利用できるか不安

- ◆熊本地震が発生時には、円滑な物資輸送に大きな影響を与えました。
- ◆災害時でも救護・物資輸送を果たす信頼性の高いネットワーク構築が課題です。



▲南海トラフ地震被災時の緊急輸送ルート

アンケートにお答えください

回答は、返信用はがきにご記入ください

下記を参考に、同封の返信用はがきへ必要事項を記入し、郵便ポストに投函をお願いします。

- ・ **あなたご自身のこと**に関する設問は、記入または該当する番号に○をつけてください。
- ・ **単一回答**の設問は、あてはある番号を **1つだけ**○で囲んでください。
- ・ **5段階評価**の設問は、各課題の該当する箇所 **1つだけ**○をつけてください。
- ・ **自由回答**の設問は、具体的な内容を回答してください。

国道218号(矢部～蘇陽間)の現状について、地域にお住まいの皆様のご意見を広く伺うことを目的としています。そのため、このはがきに記入されたことは、この目的以外には使用いたしません。

回答いただいた個人に関する情報は、本人の同意なく第三者の開示・提供することはありません。
(法令により開示を求められた場合を除きます。)

あなたご自身の事について教えてください

住所	①山都町 ②五ヶ瀬町 ③高千穂町 ④その他
性別	①男性 ②女性
年齢	①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70代以上

問1 国道218号(矢部～蘇陽間)の利用頻度について

普段、国道218号(矢部～蘇陽間)をどの程度利用していますか？
(単一回答)

①	ほぼ毎日(週4～7回)
2	週に数回程度(週2～3回)
3	月に数回程度(週1回未満)
4	ほとんど利用しない
5	利用したことがない

問2 国道218号(矢部～蘇陽間)の移動手段について

国道218号(矢部～蘇陽間)を通行する際の主な移動手段は何ですか？(単一回答)

①	自動車
2	公共交通(バス、タクシー)
3	バイク
4	自転車
5	徒歩

問3 国道218号(矢部～蘇陽間)の利用目的について

国道218号(矢部～蘇陽間)を通行する際の目的として、最も多い目的は何ですか？(単一回答)

①	通勤・通学
2	仕事(営業・商談・運送など)
3	私用(買物・食事・通院など)
4	その他[具体的な内容を記入してください]

問4-1 国道218号(矢部～蘇陽間)の課題について

国道218号(矢部～蘇陽間)に関する5つの課題を5段階(そう思う・ややそう思う・あまりそう思わない・そう思わない・わからない)で評価してください。(5段階評価)
【①～⑤の課題それぞれ該当する箇所に1つだけ○をつけてください】

分類	番号	課題 (地域や道路交通の課題)	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	わからない
暮らし	①	道路の急カーブなどが多く、安全性に不安を感じる				○	
医療	②	救急搬送時の患者への負担が大きい	○				
物流	③	カーブが多く、産業活動に影響を与えている				○	
観光	④	観光地へのアクセス・周遊性が悪い	○				
防災	⑤	災害発生時に道路を利用できるか不安を感じる				○	

問4-2 国道218号(矢部～蘇陽間)の課題について(理由)

「問4-1」にお答え頂いた回答について、そう思われた理由を教えてください。(自由回答)

番号	理由
(記入例)	●●時に利用したが、県道153号に迂回した。
①	
②	
③	
④	
⑤	

問4-3 国道218号(矢部～蘇陽間)の課題について(その他の課題)

「問4-1」に示した課題以外で、あなたが課題だと思う事があれば具体的に記入してください。(自由回答)

(記入例)
日常的に●●で困ることがあるので、●●することが必要ではないかと思う。

問5 その他について

その他ご意見がありましたらお聞かせください。(自由回答)

ご協力ありがとうございました。

(表面)

料金受取人/郵便

熊本北局承認

〇〇〇〇

差出有効期間
令和●年●月
●日まで
(切手不要)

8	6	1	8	7	9	0
---	---	---	---	---	---	---

熊本県熊本市東区西原1丁目12番地1

熊本河川国道事務所

九州横断自動車道 延岡線(矢部～蘇陽)

計画段階評価 事務局 行

下記にチェックおよびご記入をお願いします。

◆あなたご自身の事について【記入または該当する番号に○をつけてください】	
住所 ①山都町 ②五ヶ瀬町 ③高千穂町 ④その他()	
性別 ①男性 ②女性	年齢 ①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70代以上
問1 普段、国道218号(矢部～蘇陽間)をどの程度利用していますか？ (単一回答)	
1. ほぼ毎日 2. 週に数回程度 3. 月に数回程度 4. ほとんど利用しない 5. 利用したことがない	
問2 国道218号(矢部～蘇陽間)を通行する際の主な移動手段は何ですか？ (単一回答)	
1. 自動車 2. 公共交通 3. バイク 4. 自転車 5. 徒歩	
問3 国道218号(矢部～蘇陽間)を通行する際の目的として、最も多い目的は何ですか？(単一回答)	
1. 通勤・通学 2. 仕事 3. 私用 4. その他	
【	

※個人情報同意なく第三者に開示・提供することはありません。
(法令により開示を求められた場合を除きます。)

(裏面)

質問4-1 国道218号(矢部～蘇陽間)に関する5つの課題を5段階(そう思う・ややそう思う・あまりそう思わない・そう思わない・わからない)で評価してください。
(5段階評価)
【①～⑤の課題それぞれ該当する箇所につただけ○をつけてください】

番号	分類	課題 (地域や道路交通の課題)	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	わからない
①	暮らし	道路の急カーブなどが多く、安全性に不安を感じる					
②	医療	救急搬送時の患者への負担が大きい					
③	物流	カーブが多く、産業活動に影響を与えている					
④	観光	観光地へのアクセス・周遊性が悪い					
⑤	防災	災害発生時に道路を利用できるか不安を感じる					

質問4-2 「問4-1」にお答え頂いた回答について、そう思われた理由を教えてください。
(自由回答)

番号	理由
①	
②	
③	
④	
⑤	

質問4-3 「問4-1」に示した課題以外で、あなたが課題だと思う事があれば具体的に記入ください。(自由回答)

質問5 その他ご意見がありましたらお聞かせください。(自由回答)